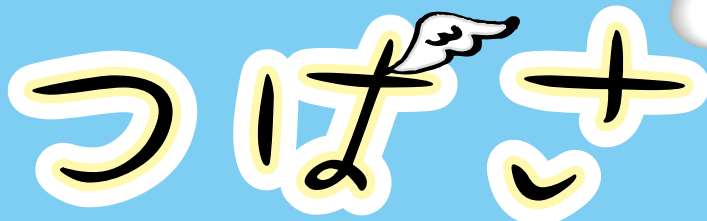


Community Medicine
— 地域医療の架け橋 —

2016 年 7 月発行

第 48 号



地域の皆さまに信頼される病院として
安全で質の高い医療を提供します。

独立行政法人地域医療機能推進機構
神戸中央病院
〒651-1145
神戸市北区惣山町 2 丁目 1-1
TEL 078-594-2211
FAX 078-594-2244
<http://kobe.jcho.go.jp/>



総合内科

昨今、総合診療や総合内科という言葉を目にしたり耳にしたりする機会が増えているのではないのでしょうか？医療は日々進歩をとげ、多くの病を治したりコントロールすることが可能になっています。その反面、各専門領域の先生方が身につけなければならない知識や技術が非常に膨大なものとなり、自分の専門領域以外の分野にまで十分な経験を積むことが困難でもあります。また、高齢化社会を迎え、医療を含め社会が直面している問題は非常に多岐にわたります。このような状況に対する一つの方向性として総合診療、総合内科が注目されるようになりました。

当院のホームページに、総合内科の理念として『幅広い知識をもって真に総合的な診療を提供できるホスピタリストの能力を有し、病気を診るのみならず人間を診ることのできる総合内科の育成を目指す』と掲げられています。つまり、総合内科が掲げている『総合』とは、①幅広い領域において一定の対応能力を備えつつ、各専門領域の先生方との的確な連携のもとに診療を進めること、②病だけではなく、老いや社会的な背景なども踏まえたうえで、医療を必要としている方々とともに問題の解決を図ること、と考えます。

しかし、それは決して容易なことではありません。医学全般に通じるためには、我々自身も常に努力を続けることが必要であり、かつ決してゴールに到達することはないからです。さらに、医学的なこと以外の問題に医療従事者が介入出来ることは非常に限られているかもしれません。それでも、少しずつでも、各専門領域の先生方をはじめ、病院でともに仕事をする全ての職種の方々や、当科を受診あるいは入院治療を受けられる方々、さらには地域で医療や介護に従事されている各領域の方々から教えられながら、総合内科として研鑽を積み重ねていきたいと考えております。これからもよろしくお願い申し上げます。

新任
挨拶



5月から総合内科でお世話になっております。各専門領域の先生方と密に連携を図りながら、総合内科診療の一翼を担うことができれば、と考えております。

総合内科 医長 桂 敏明



たにぐちクリニック

〒651-1101 神戸市北区山田町小部字向井谷1-1 B棟1号
TEL 078-595-4128 診療科目：内科・循環器内科・呼吸器内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	●	●	●	×	●	●	×
17:00~19:00	●	●	●	×	●	×	×



谷口 隆弘 先生

平成15年まで神戸大学循環器内科に勤務し、その後老健施設うららの施設長を経て、平成20年8月に、まつむらクリニックを継承し、小部中学校に隣接する当地で開業しました。

信頼できるホームドクターをモットーに、外来診療と在宅支援診療所として訪問診療を行っています。個々の患者様の訴えを十分に拝聴し、きめ細やかな説明と患者様が納得頂いた上での診療を心がけ、循環器疾患、呼吸器疾患を中心に内科全般に対応しています。特定健診、禁煙外来を行うとともに、血管年齢・肺年齢の測定、睡眠時無呼吸の検査と治療も行っています。また、様々な病状に対して、漢方診療を組み合わせで行っています。

訪問診療は寝たきりや来院困難な方に対し、24時間の対応を行っています。最近では、住み慣れた自宅での看取りを望まれる患者様、家族様が増えており、このような方にも対応しています。



外来や在宅の患者様の入院や精密検査では、近くの神戸中央病院や個人病院と病診連携を取っていますが、迅速に対応していただき、患者様にとって安心して受診していただける医療を提供できているのではないかと考えています。特に、癌末期の患者様の緩和ケアでは、神戸中央病院の緩和ケア病棟に大変お世話になり、外来受診と入院では地域連携室に、また、訪問診療では訪問看護ステーションに大変お世話になっています。

今後も、患者様に笑顔になって頂けるよう心がけ、初心を忘れず、患者様家族様の立場に立つ医療を提供していきたいと考えています。



次回予告 第9回 市民医療セミナー

テーマ「呼吸器（肺）疾患について」

日程：平成28年11月5日（土） 時間：開場 12時 開演 13時
会場：すずらんホール（神戸市北区鈴蘭台西町1丁目26-1）

皆様のご来場
心よりお待ちしております。



第8回 JCHO 神戸中央病院 市民医療セミナーを開催しました

テーマ「あなたの血糖は大丈夫？」 平成28年6月18日（土） お忙しい中、340名ご来場いただきました。ありがとうございました。

内科部長 藤井 光広 先生

内科医長 中島 寿樹 先生

糖尿病看護認定看護師 永瀬 紗奈衣 さん

糖尿病療養指導士 辻井 智美 さん

みなさん、こんにちは。先日は、たくさんの方にご来場頂きまして、ありがとうございます。限られた時間でしたので、メモを取る暇も無く困られた方も多かったのではと思います。またの機会をお待ちしております。



先日は市民セミナーに多くの方に参加していただきありがとうございました。糖尿病の治療薬の進歩により以前に比べ目標の血糖コントロールに到達する患者さんが多くなりました。薬の効果を十分に発揮するには生活習慣の工夫が大切です。講演でも触れましたが、低血糖にならず目標の血糖コントロール維持が何よりも大切です。多くの方が糖尿病の合併症で苦労せずに日常生活を送ることができることを願っています。



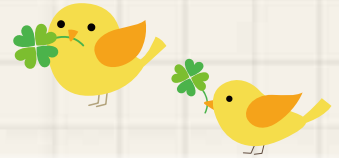
当日は多くの方々にご参加いただきありがとうございました。短い時間でしたが、「糖尿病から足を守る」為に大切なポイントをお伝えできたのではないかと思います。これをきっかけに、糖尿病を持つ地域の皆様が、足に関心を持ってお手入れしてくだされば、うれしく思います。



大変多くの方々にご来場いただき感謝しております。また、急遽演者が変わりましたことお詫び申し上げます。お食事は、楽しく、美味しく、食欲を満たすものであり、治療の一貫でもあります。少しでも糖尿病の病期を進行させないために、皆様の日々のお食事を見直すきっかけになっていけば幸いです。



呼吸ケアサポートチーム RST (Respiration Support Team)とは



呼吸ケアサポートチーム・RST (Respiration Support Team) とは医師・看護師・臨床工学技士・理学療法士・歯科衛生士などの職種が協働して、人工呼吸器を装着している患者様や早期離床を必要とする患者様に対し、機器の安全管理、呼吸リハビリテーション、口腔ケアなど呼吸ケア全般に関する支援を行うチームです。

現在、入院中の患者様に呼吸療法認定士が中心となり、呼吸器合併症の予防や早期離床を目指して、病棟看護師と協働して患者様の個性性に合わせた呼吸ケアを考え活動しています。

今後は患者様の早期回復を目指し、様々な職種が協働して活動の場を広げていきたいと思っています。

呼吸ケアに関連したことであれば、些細なことでも一緒に考えていきたいと思っています。お気軽にご相談ください。



「地域包括ケアシステム」

③入院治療後の退院調整

ご存じのように、我が国では少子高齢社会の中で医療を必要とする人々の数が爆発的に増加することが予想されています。今後も医療費の増大を防ぐために、必要な急性期の治療が終われば退院という在院日数の短縮化が図られていきます。

退院調整とは、急性期病院での治療が終われば、住み慣れた地域で在宅医療を継続しながら、その人らしい生活が送れるように病院から生活の場へスムーズに移行できるように介護保険サービスなどの利用による生活環境を調整することを言います。

退院調整において本人・家族への支援で最も大切にしていることは、退院された後、「どのような生活を送りたいのか」「どう生きたいのか」「どう最期を迎えたいのか」本人・家族の意向の尊重と自立支援です。すなわち本人・家族が今の病状を理解し、今後、病状管理をできるだけ自分の力でを行い、安全で安心な生活ができるように支援することです。

本人・家族だけで解決が困難な事柄に関しては、介護保険サービスを利用してケアマネージャー、訪問診療医、訪問看護師、訪問介護など在宅療養を支えるそれぞれの専門職が連携して、生活の主役である本人・家族の自立した生活を支援していきます。

当院でも入院されている方には、主治医と入院病棟と連携して退院調整をしています。また、1階正面玄関入って右手に患者相談窓口がありますので是非、気軽にご活用ください。



メデイカル ライン

《医療機関向け》

『リソースナースコンサルテーション（平成28年）』のご案内

看護の力で地域を支える新たな取り組み

～ リソースナースを地域で活用する体制づくり ～

平成27年度より、専門資格を持つリソースナース（専門看護師・認定看護師）を地域の共有財産として活用していただきたく、皆様への研修などの教育活動に加え、地域の現場が抱える問題に対応する地域のリソース（資源）となり地域医療に貢献いたします。



地域の医療スタッフの皆様からコンサルテーションをお受けしてより良いケア情報を提供いたします。
お気軽に何でもご相談下さい。研修開催の希望やコンサルテーション内容により出張もいたします。

お問い合わせ先：JCHO神戸中央病院 地域連携室

TEL：078-591-3461

詳しくはホームページをご覧ください

コンサルテーション用紙は
当院ホームページから
ダウンロードできます

コンサルテーション領域	専門領域	担当者氏名
※認知症	認知症看護認定看護師	西田珠貴
※糖尿病	糖尿病看護認定看護師	永瀬紗奈衣
※がん看護、疼痛マネジメント	緩和ケア認定看護師	杉山裕美
※がん化学療法、がん看護	がん化学療法看護	辰井はるか
※創傷、褥瘡、ストーマ	皮膚・排泄ケア認定看護師	福本温子
※家族看護	家族支援専門看護師	皆本美喜
※脳卒中リハビリテーション	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	本間春雪、長濱雅子
※集中ケア（呼吸リハなど）	救急看護認定看護師	木下敏孝

特別講師などによる講演予定（平成28年7月から10月）

場所：当院2階会議室にて

日 時	講 演 内 容	講 師
7月28日(木) 15時50分より	神戸市北区医師会・JCHO神戸中央病院 合同学術講演会 『最適な2型糖尿病治療を目指して』	京都府立医科大学大学院研究科 内分泌・代謝内科学教授 福井 道明
9月15日(木) 18時30分より	基礎からわかる脳疾患 ～脳卒中・けいれん・パーキンソン病の診断と治療～	JCHO神戸中央病院 脳神経外科・神経内科 医師7名